

今週（3月16日から3月19日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コール市場は、引き続き資金調達ニーズが旺盛ななか、出合いの中心は0.72%台後半での推移となった。加重平均レートは、月曜日から水曜日まで0.727%となり、19日(木)も概ね同水準での推移となった。

ターム物は、1W程度の短い期間では付利金利以下での引き合いが見られた一方で、1M程度の期間では3月末越えの調達ニーズが強く、0.9%台での引き合いも散見された。

日銀当座預金残高は、週初は貸出増加オペの期日を迎えたことで先週末から減少し440兆円程度で始まった。その後は国債の発行などを受けたものの大きな変動はなかったものの、19日(木)は財政資金の払いもあり、443兆円程度での着地が見込まれる。

なお、18日(水)・19日(木)に開催された日銀金融政策決定会合では、当面の金融政策運営について、現状維持が決定された。

●債券レポ市場

今週のレポ市場は0.75～0.76%で推移した。参加者のしっかりとしたオファー姿勢が見られ、週を通して高めのレートで安定して推移した。

SC取引の個別銘柄では、2Y470～482回、5Y170～183回、10Y360～381回、20Y180～195回、30Y70～89回、40Y13～18回などで引合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、6Mゾーンが軟調に推移した。

17日に実施された1Y物入札と、18日に実施された3M物入札は、いずれも無難な結果となった。結果発表後のセカンダリーについても堅調に推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、不動産、小売、卸売、建設等複数の業態で大型発行が見られた。

市場残高は週を通して25兆円台半ばで推移した。

発行レートは、期越え物については投資家の運用目線にばらつきがみられ、振れ幅が大きい状況が続いている。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
3/16 (月)	53,751.15	2.275	159.41	0.727	0.753	4,404,400
3/17 (火)	53,700.39	2.265	159.33	0.727	0.753	4,419,400
3/18 (水)	55,239.40	2.214	159.12	0.727	0.753	4,408,500
3/19 (木)	53,372.53	2.260	159.80	0.728	0.755	4,431,800
3/20 (金)						

来週（3月23日から3月27日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー （※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
3/23 (月)					1月の米建設支出
3/24 (火)	2月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 1月のサービス産業動態統計調査(経済産業省 13:30)		40Y物 3/25発行 4,000億円		
3/25 (水)	金融政策決定会合議事要旨(1月22,23日分 8:50) 1月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)				2月の英消費者物価指数
3/26 (木)	2月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)		流動性 3/27発行 7,000億円		
3/27 (金)		TDB3M 3/30発行 47,000億円			

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
3/23 (月) 日銀予想	200	74,500	74,700	国債補完 社債買入	3,100 ▲ 100		3,000	77,700	国債利払い・大量償還 TDB3M発行▲47,000償還43,000 TDB1Y発行▲33,000償還32,000 5Y償還16,800、10Y償還8,600 20Y償還19,400 エネルギー対策借入▲7,615期日7,400
3/24 (火) 弊社予想	500	5,000	5,500				0	5,500	
3/25 (水) 弊社予想	500	23,500	24,000				0	24,000	40Y発行▲4,000
3/26 (木) 弊社予想	▲ 500	9,000	8,500				0	8,500	財政融資資金の回収 流動性供給▲7,000
3/27 (金) 弊社予想	▲ 1,000	1,000	0				0	0	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、堅調な資金調達ニーズが続き、概ね0.727%前後での推移が予想される。債券レポ GC T/N物のレートは、引き続き0.745~0.76%程度の水準で推移することが見込まれる。短期市場は、27日(金)に3M物の入札が予定されている。CP市場は、月末発行を控え、事業法人の発行動向やレート水準が注目される。

来週の主要なイベントとして、国内では24日(火)に2月の全国消費者物価指数、1月のサービス産業動態統計調査、25日(水)に金融政策決定会合議事要旨(1月22・23日分)、1月の景気動向指数改訂状況、26日(木)に2月の企業向けサービス価格指数が公表される予定であり、海外では23日(月)に1月の米建設支出、25日(水)に2月の英消費者物価指数が公表される予定である。

(※尚、米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。)

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。